

第1回 豊能町小中一貫教育等充実検討委員会 議事録要旨（案）

- 1 日時：平成27年8月6日(木)午後1時から午後3時まで
- 2 場所：豊能町立西公民館 大会議室
- 3 次第
 - 1) あいさつ（教育長）
 - 2) 委員紹介
 - 3) 会長及び副会長の選出
 - 4) 会長あいさつ
 - 5) （議事）諮問について
 - 6) その他
- 4 出席者：委員27名、教育長、事務局8名

議事録要旨

- 1) あいさつ
（教育長）

教育委員会では、本町の幼稚園・保育所・認定こども園の幼児の保育教育、小学校教育・中学校教育について、5年先10年先の仕組、環境、内容をどのようにするのかを考えることが急務であると思っている。皆さんのご意見をうかがいながら、本町の保幼小中学校のことをともに考えていきたい。よろしくをお願いします。

- 2) 委員紹介
[事務局より委員等紹介]

- 3) 会長及び副会長の選出

[事務局の推薦より、学識経験者の委員である鈴木正敏 氏を会長に、辻村敬三 氏を副会長に就任していただくことで委員の了承を得る。]

- 4) 会長あいさつ

皆さんと一緒に豊能町の保幼小中一貫を考え、できるだけ皆さんの意見をきき、できるだけ反映させて、1つの結論に導いていけたらと思う。

- 5) 議事
（会長）

議事を始める。はじめに、当該委員会は、委員の方々に自由に発言をしていただくため、公開しないこととし、この委員会で議論した内容については、会議録要旨として残し、公開することを提案したい。

[委員異議なし]

特に、保護者等の方々には、この場で議論したことを持ち帰り、広く意見等を聴取していただければと思う。それでは、事務局より諮問について説明を求める。

[はじめに、教育長から会長へ諮問文を手交する。]

- ・本町における小中一貫教育等に向けた教育環境について
 - ・本町における小中一貫教育等に向けたカリキュラムについて
- (※平成 28 年 3 月までに答申)

(事務局)

[諮問の内容について事務局説明]

(委員)

小中一貫校を西地区につくる準備をはじめようという感じだが、実際にどの場所にどのようなものを建てるのか。具体的なイメージがないと、問題点などを指摘できない。建てるという前提の話なのか。

(事務局)

今は、どの小学校も子どもが減っているが、基本的には、教育委員会としては、2 学級以上の編成ができることが、子どもにとってよいと考えている。小規模がよくないということではない。子どもため何がよいのか、この場で議論していただき、大きな方向性を出していただきたい。

(委員)

東地区でも小中一貫をしていく考えがあるのか。2 学級はかなり厳しい。

(事務局)

東地区について、同地区で子どもを育てることがよいと思っている。その状況では学級編成で 2 クラスにならないが、教育内容を工夫することで、よりよい小中一貫教育ができるようになればという思いである。

(教育長)

小中一貫校は、校長 1 人で完全な 1 年生から 9 年生であるが、それをつくるための諮問ではない。この「今後の小中一貫教育等に関する方向性」では、小中一貫教育をどのようにして質を高めるのかについて検討し、東地区でも小中一貫教育のよさを生みだしていこうというものである。

(委員)

間仕切りという言葉があるが、具体的に施設の一体化での間仕切りなのか。

(教育長)

1つのアイデアとして、中学校の校舎を改修などして、小学校区と中学校区と分けて間仕切りすることも考えられるということである。

(副会長)

小中一貫教育については、全国で様々な取組が行われている。当初は一貫校をつくるというものであったが、様々な実績の中で必ずしも一体型ではなく、隣接型、併設型など様々な形がでてきている。他の地域での様々な試みや経験を積み重ねている中でのスタートなので、ある意味で有利と考える。地域に合ったベストな形はどれなのか。子ども達にとってどれが一番よいのか、豊能町はみんなで考えていこうという姿勢であるので、他で学んだ事や私の考えも出しながら、一緒に検討していきたいと思う。

(委員)

私のクラスは17人で、教師の立場で言うと、様々な子どもがいて、悩みや検討事項もたくさんあるが、単純に例えばマルを付けるだけであれば、40人クラスよりずっと時間的に他に回せることもある。どこまで自由に検討できるのか。

(会長)

アメリカの研究では、15人から30人までは、ほぼ記憶力が変わらないが、15人以下になると記憶力があがるというデータがある。それができればいいが、日本のレベルは35人という発展途上国並みだが、町としてどうするのか。理想を言えば、町の真ん中に素晴らしい建物を建て、保幼小中が並んで、お互い適当な段差もありながら、共有スペースや芝生もあるような物ができたらよい。それにはお金が必要なのだが、どこまで議論して何を大事するのかという議論はできると思う。どこまで可能かというのは、相談先が違うと思う。理想は描いてもよいと思う。少人数で、複数学級で、1つの所で皆で集まれて、小さい子から大きな子まで共有していける場所、図書館もあって体育施設もしっかりしていて、そういう絵を描くことはできると思う。そこから現実的にどうつなぐのかは、財布と相談とか、先生方と相談し、子ども達の現状をよく考えて、西地区と東地区の地域的な問題も考え合わせる必要があると思う。それらを議論できる環境にあると思う。少人数のよさ、地域と密着しているよさ、吉川学を行っているよさなど、どこを大事するのかの議論をここでできるのではないかと思う。

(教育長)

東京都などは、税収も多く都のお金で教員を雇っている。国の基準を越えて教員をお願いすると府か町で負担することになる。今の本町の財政状況で、町で教員を雇う余裕はない。今の国の基準で、どのように教員を確保するのか。理想は必要だが、ここまではきちんとやるという議論があってもよいと思う。理念、理想があるのはよいが、どこまでやるのかは限界があるので、それに近づく努力はしたいと思っている。

(委員)

例えば、40人学級を35人にするとかの検討の余地はあるのか。38人でも1学級なのか、35人でも2学級なのか、それでも随分と違う。

(教育長)

学級集団なのか、学習集団なのかという問題がある。学級集団は15人でよいのか。学習集団は15人の方がよいのか。勉強する時は15人だが、学級はもう少し多い方がよいのか。そのあたりの議論はきちんとする必要がある。

(会長)

理想として学習集団で15人を1クラスにするデメリットもある。学級集団あるいは学年集団として何人が適正かも考えないといけない。いろんな形での先生を補助する人が入っていることによって、デメリットを少しでも軽減していく所と、小中が同じ場所を共有することにより。学習の内容、異学年での交流やお互いの学習内容を知る環境ができることによって、学習面で深まり効果があがったという教育方法も含めて考えていくことでデメリットを越えていくことができるのではないかと。先生方や保護者の方が何を大事にされているか。こんな子に育ててほしい、交流してお兄ちゃん、お姉ちゃんらしくなってほしい。或いは教えられることで、やさしさに触れてほしい。何を求めていくことが、小中一貫教育であったり、連携して取り組んだりすることなのか、例えば、分離型でもよいし、一緒にすることだけがよいわけではない。少し離れているけどお互い中学校、小学校、幼稚園、保育所、こども園のつながりがしっかりあり、そのうえで様々な教育活動が進むことができれば、本来のねらいを達成することができる。建物を一緒にするなどの物理的な問題だけではなくて、中身を変えていくことで目指す事が達成できるのではないかと。

(委員)

今日の資料は、持ち帰ってPTA役員に見せてもよいのか。今日、この場で、あれやこれやと言うより、各保護者は話が見えてない方ばかりだと思う。今日の資料を見てこれまでの経過を知った方もいるだろうから、持ち帰って意見を聞いて、また持ってきてもらう方がよい。

(事務局)

東地区及び西地区にそれぞれ現在の中学校区を維持することは重要であると資料の最後に書いているが、複数学級を維持できる環境はつくりたいと考えている。西地区に学級替えできる小学校をつくり、中学校は残す。東地区は、学級替えはできないかもしれないが、中学校区は残したいと書いてある。教育委員会が出している方向性について、いろんな意見を聴き、答申を受け、教育委員会が最後に判断したい。いろんな立場でいろんな意見を言っていただいて、みんなでどんな学校にしたいかの課題を出し合っていただきたい。今日の資料を持ち帰り、役員会等で意見を聞かれることは特に問題はない。

(会長)

資料を見てもよくわからないこともあるので、PTAの役員会などで説明を求められることがあれば、スケジュールが合えば事務局で対応をお願いしたい。西だけが進むわけではなく、西と東で維持したい方向性が出ている。保護者の方、先生方、管理職の方がどのような形で連携を進めていき、全体としての教育の一貫性について最初にやっていくことが肝要である。そのためには、皆さんの意見とか願いとか

が、たくさん出ることが大事だと思う。

(委員)

私のイメージでは吉川中学校に3小学校を全部集めるイメージだった。ある程度、核心をついた所を言ってもらわないとよくわからない。具体的なパターンをいくつか挙げてもらった方が話がしやすい。目指すところのゴールがどこで、それが何年後ぐらいだと思っているとか、その中にいろんな意見があると思うが、この方向がよいと思うとか、もう少し言ってもらわないと先へ進まないまま1年間が終わってしまうのではもったいないと思う。

(教育長)

実際、学校をつくりかえることや建て替えることは専門性が必要なもので、夢みtainな話は言えるが、それほど簡単ではない。それよりも、先ほどの話にもあったが、大人数の学校にしたらよいのではないかとか、少人数できちっとやっいていこうとか、生きる力を考えた時にクラス替えがあった方がよいので早く進めた方がよいと考えると、少人数で丁寧な教育をやった方が今のところはよいとか、すごく大きな話、そこが聞きたい。私たちは、それを聞かせてもらえば、専門的な立場で取り組んでいく。案はあるが、ここにこんな学校をつくってこうしたいとは、なかなか簡単に言えない。でも、私が教育長として赴任してからも、小学校の人数が段々少なくなってきた。クラス替えができることと、中学校と近接した方がよいなど、この方向性で本当によいのかどうか、将来の幼稚園や保育所等の子どもが、5年、6年経って小学生になった時に、その子ども達にとって、今の環境がよいのかどうか、検討していただきたい。教育委員会は学校の設置等の権限を持っているが、進め方は丁寧に、総論的にこの方がよいということから検討していきたいと思っている。そこは理解していただきたい。

(委員)

東地区は、子どもが少なくなっているのので、小中一貫の方向にしたいですか、ということで意見をきいてくればよいのか。

(事務局)

東地区の子どもの課題も議論していく。次回8月27日(木)に視察を予定している。いろんなイメージをもちながら見ていただいて、意見を出していただきたい。9月18日(金)の1回目の教育環境部会で、今後の予定の資料の1～3について議論をお願いします。課題や検討事項を出しているのので、そこを見ていただいて、意見をいただけたらと思っている。

(会長)

中学校を大きくしたいのであれば、別の方法もあるかも知れない。ひょっとして町立でなくなるかもしれない。組合立ということもある。大きくするために隣のまちと組合立で町の真ん中に学校をつくった事例もある。いろんな解決策がある。小さい学校が嫌なら、その部分も検討できるし、東と西で別にしても将来的に20年、30年先には1つになっているかもしれない。組合立でいろんな所からたくさん来て一緒に勉強しているかもしれない。それで、都会にでるときに戦える子どもになっている。或いは、

小さい時はなるべく交流や信頼関係をむすび、丁寧に関わって、そこから大きなところへ行ってほしいという願いもある。そここのところの意見がききたいと思う。自分の子どもがどう生きてほしいか、それに合わせて先生や保護者としても何をしてどのような環境をつくってあげられるのかということで考えていただければと思う。

(委員)

教育環境部会を3回する形だが、ケースバイケースで回数を増やすという考えは事務局にあるのか。必ず3回でとなると話の伝え方が違う。内容によっては、急ぐだけではなくしっかり審議することも必要だと思うがそのあたりは考慮しているのか。

(事務局)

このスケジュールは事務局が作成している。教育環境部会では方向性をこれでというのが見えればというのが第3回までで、それまでに課題が解決しているとは思っていない。11月で方向性が見え、これでまとめる方向で持ち帰って話してもらって所までいければよいと思う。11月は、行政的には予算編成の時期でもあり、来年4月から主要なことについて、どのよう動けばよいのか11月には決めたい。まずはどちらに進むのかを一緒に考えていきたい。

(委員)

ある程度は、デメリットの資料を事務局で出してもらいたい。

(事務局)

第1回の教育環境部会でそのような課題について共有していきたい。

(教育長)

これからの進め方としては、方向性について項目ごとに、課題としてのとらえ方はよいのか、解決策としてこれでよいのか、具体的に、メリット・デメリットの話をかきかせてもらいたい。ここでは、学校施設をどうするか議論はあるが、カリキュラムをどうするかも重要であり、そのことも含めてハードとソフトを共有したいと思う。学校のハードと、保幼小をどうしていくのかの議論は、合わせて考えていかないといけない。保幼から小中へつなげることは非常に重要な課題である。そのことについても共有していただければと思う。

(会長)

ふたば園を整備する時に、審議会によんでいただいて一緒につくった。子どもの願いを皆で出し合って究極の妥協点をみつけて、ふたば園を整備したという思い出がある。その時に保幼小中だけではなくて、学童保育も含めて一体化しないと教育としての一貫性がないのではとの話があった。小中だけではなくて、こども園、幼稚園、保育所も学童保育も、それから住民の皆様がどのような思いで子ども達をみてくださるのか、地域のつながりも含めて議論ができたらと思うので、よろしくお願ひします。以上で議事を終了します。

6) その他

(今後の予定)

- ・視察研修 8月27日(木) 9時30分～ 池田市立細郷学園
- ・第1回 教育環境部会 9月18日(金) 午後2時30分～ 西公民館